

第5回 真庭市子ども・子育て会議 次第

日時 令和3年11月19日(金) 19:00から

場所 真庭市役所 本庁舎 2階大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 答申(案)について

(2) その他

4 そ の 他

5 閉 会

(案)

資料

令和3年11月25日

真庭市長 太田 昇 様

真庭市子ども・子育て会議
会 長 佐藤 和順

幼児教育施設整備の方向性について（答申）

諮問のありました「幼児教育施設整備の方向性」について、別紙のとおり答申
します。

幼児教育施設整備の方向性に係る答申書

令和3年11月

真庭市子ども・子育て会議

答 申 書 (案)

真庭市子ども・子育て会議では、令和3年7月29日、真庭市長から「幼児教育施設整備の方向性」について諮問を受けました。

諮問の背景としては、全国的に人口減少が進む中、年少人口についても減少傾向が見られる反面、共働き世帯の増加や幼児教育・保育の無償化等に伴い、乳幼児期における保育需要は増大しています。さらに、価値観の多様化や施設の老朽化への対応等、より安心して子育てができる環境を整備することが課題となっており、真庭市においても同様の状況が見られます。特に、0歳から2歳児についての保育需要が増大傾向にあり、その受け皿の確保への対応が必要で、とりわけ久世地域においては幼児教育施設の老朽化及び保育需要の増大への対応が喫緊の課題となっています。

こうした中、新たな民間事業者から久世地域における幼児教育施設の設置に向けての提案もあり、真庭市として、民間参入の是非も含めた幼児教育施設整備の方向性を示すことになったかと思われまます。

本会議では、諮問された事項について審議した結果、次のとおり答申します。

審議結果

(1) 基本的な方向性について

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期であり、すべての子どもが笑顔で成長していくためにも、「こどもがまんなか」の環境づくりが必要だと考える。

真庭市の目指す教育・保育目標である「のびのびと心豊かに意欲をもって生活する子どもの育成」が実現でき、乳幼児期の子どもの育ちを保障していくことができる環境の整備に向けて取り組むこと。

特に、喫緊の課題である久世地域の幼児教育施設の整備については、新たな民間事業者の参入を含めて検討することにより、保育の多様性が担保され、また、乳幼児期における教育・保育の選択肢が広がるよう努めること。

また、久世地域に限らず、保育需要が増大している0歳から2歳児の受け皿の確保を推進していくこと。

(2) 具体的な整備・運営等について

久世地域の園整備については、老朽化及び適正な園の規模から考慮し、久世保育園を優先的に整備することとし、また、地域住民との関係や自然環境が継続できるように、現在の場所かその周辺での建て替え、あるいは新築を検討すること。

真庭市の目指す教育・保育目標の実現に向けて、多様なニーズへの対応や特色を活かした保育を公立園と民間園で互いに補完し合い、乳幼児期における教育・保育の選択肢を広げてもらいたい。

民間事業者の参入については、保育の多様性が担保され、乳幼児期における教育・保育の選択肢が広がることから、その役割について検討し、参入を進めていくべきである。ただし、参入する場合には、認可園とし、安定的に質の高い教育・保育を確保できることを要件にするなど、選定基準にあたっては十分な協議が行われること。また、選定された民間事業者に対しては、市による定期的な指導体制のもと、連携・協力し、適切な保育が継続的に提供されるよう求めること。

(3) 整備スケジュールについて

老朽化及び保育需要の増大に対応するため、早急に整備が進むよう環境を整えること。ただし、子どもの育ちや整備による園児への影響も考慮しながら、保護者への説明など丁寧に進めていくこと。

久世保育園の整備後は、同様に老朽化が進んでいる久世第二保育園の整備や草加部幼稚園などの少人数園の在り方についても検討されたい。

また、保育需要が増大している0歳から2歳児の受け皿の確保を視野に入れた幼児教育施設の整備も改めて検討されたい。

【 資 料 】

真庭市子ども・子育て会議委員名簿	4 頁
真庭市子ども・子育て会議における審議内容	5 頁
真庭市の目指す保育・教育目標の位置付け	6 頁
真庭市保育カリキュラム基本の柱	7 頁
幼児教育施設の現状と課題	8 頁
0～5歳の人口推移と幼児教育施設の利用者推移	14 頁
幼児教育施設整備に関するアンケート集計結果 (久世地域の保護者より)	16 頁
久世地域における幼児教育施設整備の在り方 (久世地域の園の保護者代表との意見交換より)	20 頁
久世地域における幼児教育施設整備に伴う 保護者説明・報告会(久世地域の保護者より)	22 頁

真庭市子ども・子育て会議 委員名簿

任期：令和3年7月27日から令和5年7月26日まで

(五十音順・敬称略)

	氏名	現役職等	備考
1	有本 卓司	真庭市内の園の保護者会代表（落合・北房地域）	
2	市川 義明	岡山県美作県民局福祉振興課 課長	
3	内田 典子	真庭市男女共同参画推進委員会委員	
4	岸本 真治	真庭市健康福祉部 部長	
5	清友 尚	真庭支部小学校校長会 会長	
6	佐藤 和順	佛教大学教育学部教育学科教授／岡山県立大学名誉教授	会長
7	庄司 憲子	NPO法人子育て支援の会サポートあい 理事長	
8	杉本 喜美恵	真庭市愛育委員会 会長	副会長
9	西山 佳孝	放課後児童クラブ連絡協議会 会長	
10	原田 直幸	真庭支部小学校PTA連合会 会長	
11	藤田 裕美	真庭市内の園の保護者会代表（蒜山・美甘・湯原地域）	
12	前田 浩志	真庭市内の園の保護者会代表（久世・勝山地域）	
13	牧原 美恵子	真庭市保育協議会 会長	
14	山下 薫	真庭商工会 副会長	

真庭市子ども・子育て会議における審議内容

	日 時	場 所	議 題
第 1 回	R3.7.27 19 時～	真庭市役所本庁舎 2 階大会議室	(1) 真庭市における幼児教育施設の現状と課題について (2) 今後の会議の進め方について (3) その他
第 2 回	R3.8.18 19 時～	真庭市役所本庁舎 2 階大会議室	(1) 久世地域における幼児教育施設の在り方について ①意見交換 ②アンケート結果等から (2) その他
第 3 回	R3.8.25 19 時～	真庭市役所本庁舎 2 階大会議室	(1) 久世地域における幼児教育施設の在り方について（意見交換から） (2) 少人数園の子どもたちの育ちについて (3) 0～2 歳児の受け皿の確保について
第 4 回	R3.10.19 19 時～	真庭市役所本庁舎 2 階大会議室	(1) 久世地域における幼児教育施設整備について（保護者説明・報告会から） (2) その他
第 5 回	R3.11.19 19 時～	真庭市役所本庁舎 2 階大会議室	(1) 答申（案）について (2) その他

真庭市の目指す保育・教育目標の位置付け

第2次真庭市総合計画

「多彩な真庭の豊かな生活～真庭ライフスタイル～」の実現

【基本計画】 教育・子育て環境を充実させる（創造力と生きる力）

教育は「ひと」の可能性を伸ばし、子育ては地域を担う人材を育み、「まち」の持続可能性を高め、多彩性や活気の源になります。教育と子育て環境を充実させることで、「ひと」がそれぞれの持つ能力を伸ばし発揮できる多彩で元気な「まち」をつくります。

補完

真庭市総合教育大綱

（基本目標）個性と能力を十分に伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう「まち」

豊かな生活とは、たくさんの選択肢の中から自分にあったものを選ぶことができることであり、自分にあった生き方をするためには、自らの潜在能力を伸ばすことが不可欠です。誰もが潜在能力を伸ばせる「まち」になるために、人に寄り添い、共に育ち、人生を応援しあうことで潜在能力を伸ばし、共に育ちあいます。

子ども・子育ての基本理念

～ こどもがまんなか ～ 家庭や地域の中で自分が大切な存在であることを実感することができる子育て・教育環境づくり

乳幼児期の子どもの育ち

これを保障していくための環境整備への関わり

≪真庭市の目指す保育・教育目標≫

- ・ハード面
- ・子育て支援
- ・ソフト面
- ・地域・家庭

「のびのびと心豊かに意欲をもって生活する子どもの育成」

真庭市子ども・子育て支援施設整備計画

… 「施設整備の全体的な方向性」

公営と民営の役割

◎公営施設としての役割

乳幼児期における教育及び保育が非常に重要であるとの認識のもと、その役割を公営で担う。地域全体のバランスを考え、中心的な役割を担う。

◎民営施設としての役割

特色ある教育・保育を展開し、より柔軟に多様なニーズに対応する役割を担う。

公営施設及び民営施設がそれぞれの役割を担い、相互に協力

- ・それぞれの役割を担い、協力することで、多様な教育・保育ニーズに対応
- ・連携・交流を図り、相互に切磋琢磨

新たな民間参入も視野に入れ、乳幼児期における教育・保育の選択肢を広げ、教育・保育環境の向上を図る

真庭市子ども・子育て支援事業計画

全ての子育て家庭において、子どもを安心して産み育てることができるよう、子育て支援の指針・施策を明らかにするとともに子育て支援策のより一層の充実を目指す。

連携

第2次真庭市教育振興基本計画

1. 一人ひとりの可能性を広げる
2. 真庭を愛する「ひと」をつくる
3. 教育を地域で支える仕組みをつくる
4. 暮らしの中にある豊かさを感じる心と体を育む
5. 市長部局と連携して取り組む

真庭市共生社会推進基本方針

総合計画の理念を補完し、全ての分野を横断する

真庭市保育カリキュラム基本の柱

〈真庭市総合教育大綱〉

個性と能力を十分伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう「まち」

〈真庭市の学校教育目標〉

「確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成」

〈真庭市内園統一保育・教育目標〉

「のびのびと心豊かに意欲をもって生活する子どもの育成」

(乳幼児期に育てたい三つの力)



いきいきと意欲をもった子ども
しっかり遊び好奇心・探求心のある子どもに育てよう!

のびのびと元気な子ども
心身ともに健康でたくましい子どもに育てよう!

にこにこ心豊かな子ども
人と関わり、思いやりのある子どもに育てよう!

遊ぶ力

- 身の回りの様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、工夫したり、試したりして遊ぶ。
- 考えたことや感じたことを自分なりの言葉を使って表現したり、伝え合ったりする。
- 経験したことを取り入れたり、物の性質や仕組みを活かしたりして遊ぶ。

生きる力

- 食事、排せつ、衣服の着脱、身の周りを清潔にするなど自分でできることは自分でしようとする。
- 体を動かす遊びを見つけ、挑戦する面白さや、楽しさを味わう。
- 五感全てで環境に関わり、没頭して遊び込む。
- 食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。

関わる力

- 友達と互いの良さや持ち味を感じながら、協力したり、考えを出し合ったりして、遊びを展開する。
- 互いに気持ちよく過ごすためにして良いこと、悪いことを考えて行動する。
- 様々な人への信頼感をもち、自分の思いや考えをのびのびと表現する。

幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿

健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

子どもの力を育む保育づくり

- 一人一人の子どもの気持ちや状態に寄り添い、主体性や自己肯定感を大切に保育づくり
- 遊びを通して発達段階に応じた学びができる環境や援助の工夫をした保育づくり
- 様々な環境を通して、興味や関心を引き出し、心を動かしながら遊び込むことができる保育づくり

まなぼう にこにこ わになって のびのび育つ まにわの子



幼児教育施設の現状と課題

1. 現状と課題

※「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画（R2～R6年度）」より抜粋

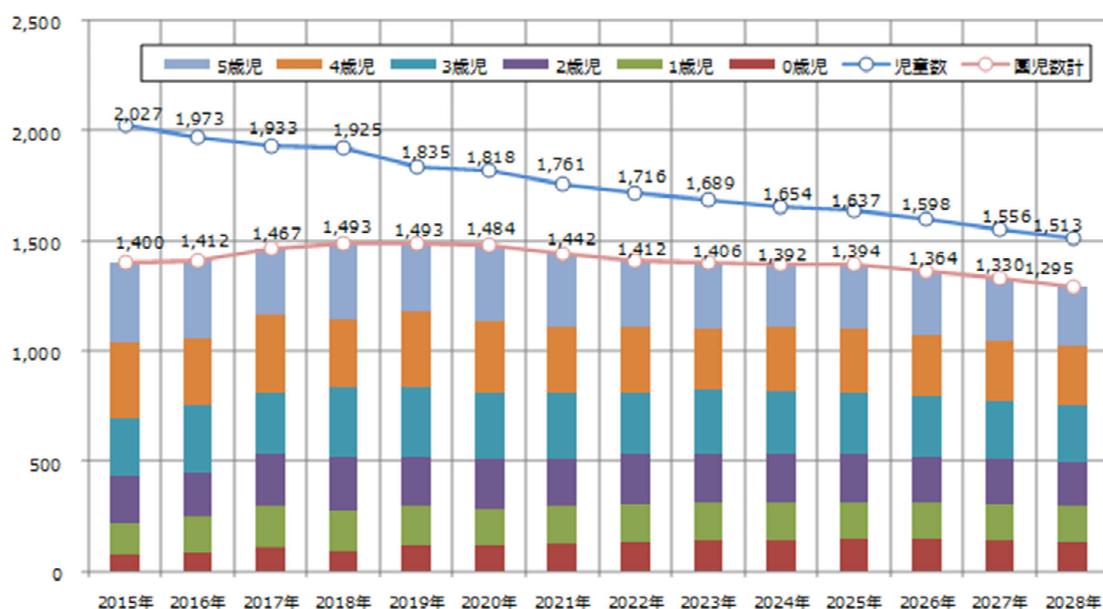
第2 0～5歳の子ども数と入園児数の推移及び推計

人口減少に伴い、0～5歳の子ども数も徐々に減少していくことが推計され、入園児数も減少していくことが予測されます。

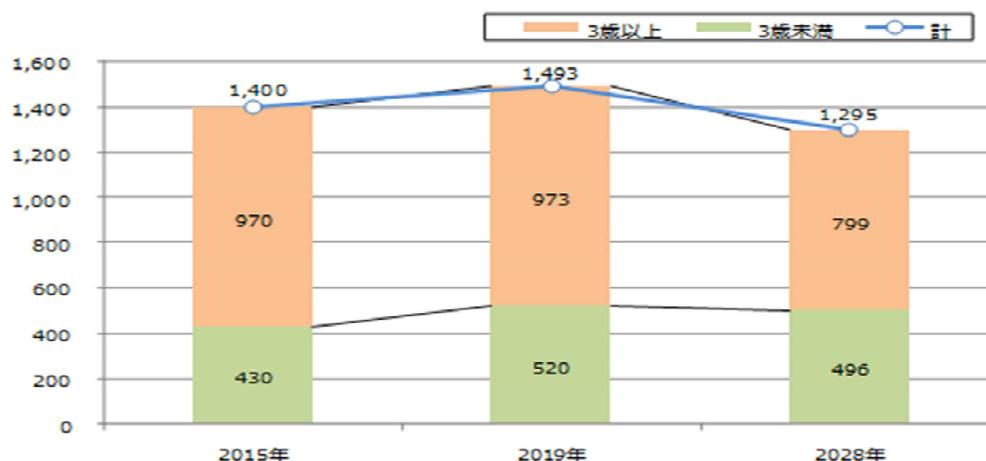
入園児数の減少は、3歳未満の子どもの入園率の上昇など、保育需要が拡大傾向にあることから、0～5歳の子ども数の減少に比べ、緩やかに減少していくことが予測されます。

【0～5歳の子ども数と入園児数の推移及び推計】

(単位：人)



【3歳以上と未満の子ども数の推移と推計】



第4 幼児教育施設の状況

幼児教育施設については、相対的に老朽化が進んでいます。

基準日：令和3年1月1日（経年数順に記載）

番号	地区	施設名	建築年	経年数	構造	面積 (㎡)
1	久世	久世保育園	S41.4	54	W	643
2	勝山	富原保育園	S43.3	52	S	616
3	美甘	美甘こども園	S48.3	47	S	586
4	蒜山	川上こども園	S48.3	47	S	739
5	久世	久世第二保育園	S48.8	47	R	592
6	勝山	月田保育園	S49.3	46	R	573
7	蒜山	中和保育園	S50.2	45	R	725
8	蒜山	八束こども園	S51.11	44	R	1,137
9	落合	木山こども園	S53.3	42	R	609
10	勝山	勝山こども園※1	S54.3	41	R	1,177
11	落合	美川こども園※2	S57.2	38	R	617
12	落合	河内こども園	S58.3	37	R	249
13	久世	米来こども園	H6.8	26	R	360
14	久世	久世こども園	H9.2	23	S	999
15	湯原	湯原こども園	H10.3	22	W	492
16	久世	草加部幼稚園	H17.2	15	S	180
17	落合	落合こども園	H19.3	13	S	1,507
18	落合	天の川こども園	H28.3	4	W	1,653
19	北房	北房こども園	H30.3	2	W	1,685

【構造】

R=鉄筋コンクリート造
S=鉄骨その他造
W=木造

- ※1 勝山こども園：上記とは別に建築年S60.3（経年数34年）の施設があります。
面積は264㎡で面積に含めています。
- ※2 美川こども園：上記とは別に建築年H20.3（経年数11年）の施設があります。
面積は277㎡で面積に含めています。

2. ニーズ及び方向性

※「真庭市子ども・子育て支援施設整備計画（R2～R6年度）」より抜粋

第1 課題及びニーズ

(1) 幼児教育施設

【課題】

- ①幼児教育施設の老朽化が進んでいます。衛生面及び安全環境を確保する面からも、新設・改修等が必要です。
- ②在園児が10人以下の施設や200人に近い施設があり、集団の育ちの面からも望ましい規模の施設を検討する必要があります。

【ニーズ】

- ①少子化、核家族化、情報化等、社会の変化を受けて、人々の価値観が多様化している中、乳幼児期における教育・保育においても保護者の価値観は多様で、子どもの育ちも多様になっています。多様な価値観を受け入れる環境が求められています。
- ②保護者の働き方に応じた、より柔軟な教育・保育サービスの充実が求められています。
 - ・土曜日、日曜日、祝日に利用したい。
(土曜日保育希望者：60%・日曜日、祝日の保育希望者：29%)
 - ・冠婚葬祭や突発的な仕事等の時に子どもを一時的に預けたい。
(一時預かりの希望者：50%)

※各数値は就学前の子どもを持つ保護者700人を対象に調査をした結果（回答数454人）
- ③子どもが病気にかかったとき、保護者が仕事を休めず、家庭で保育できない場合でも、安心して子どもを預けることができる場所の拡大が求められています。
- ④共働き世帯の増加等から0～3歳未満の子どもの利用率が増加しており、高まる保育需要に対応する必要があります。
- ⑤幼児教育・保育の無償化が始まり、乳幼児期における教育・保育に対するニーズは量、質ともに拡大すると見込まれます。
- ⑥学区内、保護者の勤務先など、市内のどの施設においても同様に、預け入れができることが求められています。

第 2 課題及びニーズへの対応にあたり望まれること

(1) 幼児教育施設

【課題に対する対応】

- ・課題である公営施設の老朽化に対応するためには、新設や改修が考えられますが、新設・改修にかかる経費、また、維持管理費等の施設の運営にかかる経費についても、市財政に与える影響、子ども・子育てへの支援を考慮した施設整備が望まれます。
- ・幼児教育施設は、集団活動の中で、家庭では体験できない社会、自然、文化等に触れ成長していく場であり、育ちの面からも望ましい規模であることに配慮しつつも、地理的、地域的な状況に配慮した施設整備が望まれます。

【ニーズに対する対応】

- ・本市では、「多彩な真庭の豊かな生活～真庭ライフスタイル～」の実現を目指して、だれもがライフスタイルを実現できる「まち」づくりを進めています。
自分のライフスタイルを実現するため、生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期である乳幼児期において多様な学び、多様な遊びを経験することが必要です。
このことから、幼児教育施設も、多様な価値観に基づいて選択できることが望まれます。
- ・休日保育や一時預かり、病児保育事業など、今後さらに保育ニーズの多様化が予測されることから、より柔軟に対応できる体制の構築が望まれます。
- ・市内のどの施設においても同様に、子どもの預け入れが可能となることが望まれます。
- ・地域や NPO 法人等による子育て支援や企業による仕事と家庭の両立の支援等、それぞれの立場における子育て支援環境の体制整備が望まれます。
- ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が平成 29 年に改訂（改定）され、幼稚園、保育園、認定こども園は「幼児教育を行う施設」として位置づけられており、小学校教育との接続を意識した、さらなる教育・保育の質の向上が望まれます。

第4章 施設整備の基本的な方向性

～乳幼児期における教育・保育の選択肢を広げる～

① 幼児教育施設

- ・ 認定こども園の設置等により、市内のどの施設においても同様に、子どもの預け入れを可能とすることで、教育・保育環境の向上を図る
- ・ 公営及び民営の施設がそれぞれの役割を担い相互に協力することで教育・保育環境の向上を図る

第1 幼児教育施設の基本的な考え方

(1) 基本的な考え方

平成27年4月にスタートした子ども・子育て支援新制度では、乳幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとされており、質の高い乳幼児期の教育・保育の総合的な提供を行うため認定こども園の普及が図られており、乳幼児期における教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであるとされています。

今般、保護者の価値観も多様化しており、子どもの育ちも多様になっています。また、共働き世帯の増加等により保育需要は高まり、保育ニーズも多様化しています。

こうした現状、課題及びニーズに対応するため、従来からの方針である認定こども園の設置等を推進するとともに、施設整備の検討にあたっては、子どもの多様な育ちを支援し多様化する保護者の教育・保育ニーズにも配慮することを基本としながら、今後の園児数の動向、市財政、地域的、地理的な条件を考慮したうえで、新たな民間事業者の参入も視野に入れ、乳幼児期における教育・保育の選択肢を広げ、教育・保育環境の向上を図るものです。

(2) 公営及び民営の役割

公営及び民営の施設がそれぞれの役割を担い協力することで、多様な教育・保育ニーズに対応します。また、公営と民営の園が連携・交流を図るなどし、相互に切磋琢磨することで、教育・保育の質の向上を図ります。

・公営の施設の役割

乳幼児期における教育及び保育が非常に重要であるとの認識のもと、本市では、その役割を公営で担っています。

今後も、地域全体のバランスを考え、中心的な役割を担っていきます。

・民営の施設の役割

特色ある教育・保育を展開し、より柔軟に多様なニーズに対応する役割を担います。

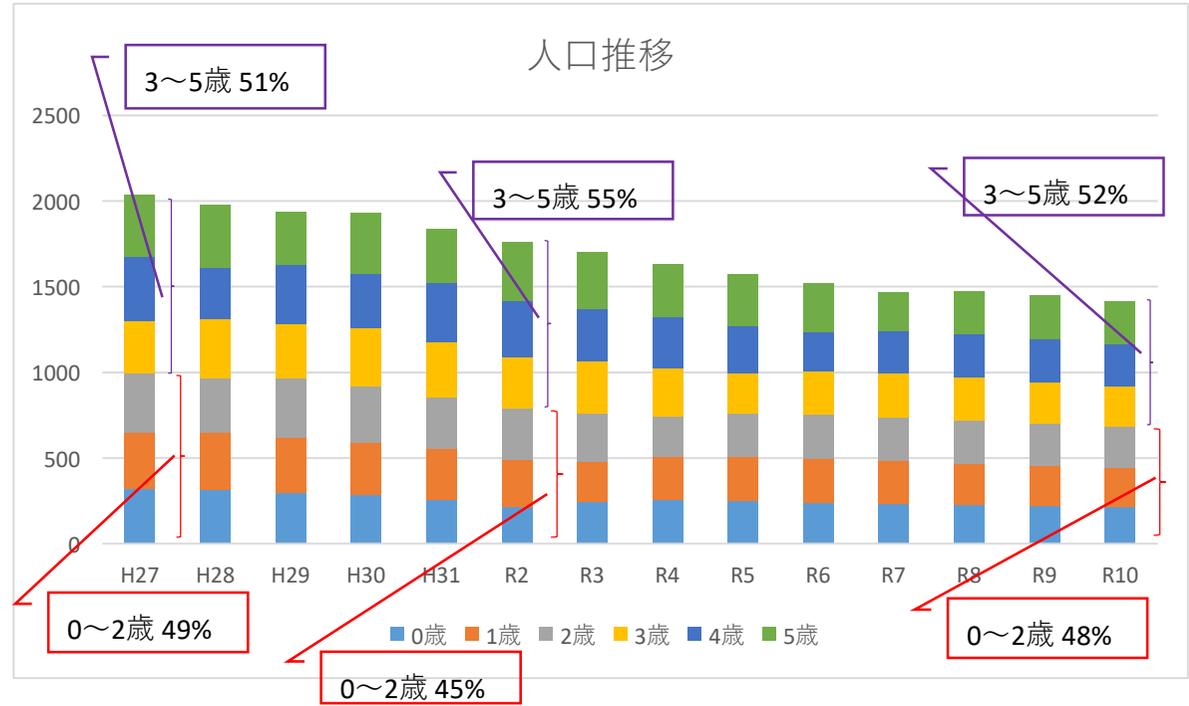
(3) 施設整備方針

施設整備の検討にあたっては、子どもの多様な育ちを支援し多様化する保護者の教育・保育ニーズにも配慮することを基本としながら、今後の園児数の動向、施設の老朽化及び安全性を重要な指標とするとともに、市財政、地域的、地理的などの様々な条件についても考慮したうえで、新たな民間事業者の参入も視野に入れていきます。

0～5歳の人口推移と幼児教育施設の利用者推移

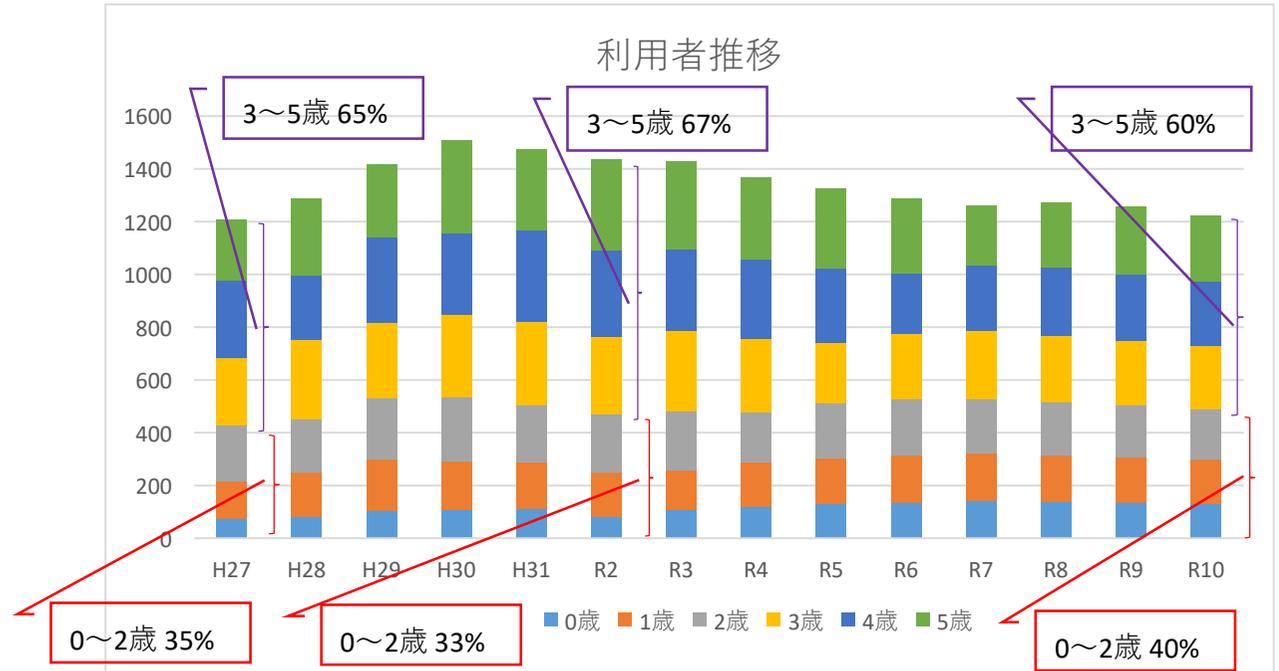
人口推移

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H27	323	324	348	305	374	360	2034
H28	315	332	321	343	301	365	1977
H29	298	323	345	317	349	306	1938
H30	287	305	327	341	313	356	1929
H31	260	295	298	325	343	312	1833
R2	217	275	296	302	326	346	1762
R3	246	233	281	303	309	334	1706
R4	254	255	233	280	302	310	1634
R5	248	260	254	230	280	303	1575
R6	242	254	261	250	228	282	1517
R7	235	248	254	258	249	227	1471
R8	228	242	248	251	257	248	1474
R9	222	235	242	245	250	257	1451
R10	218	230	235	239	243	250	1415

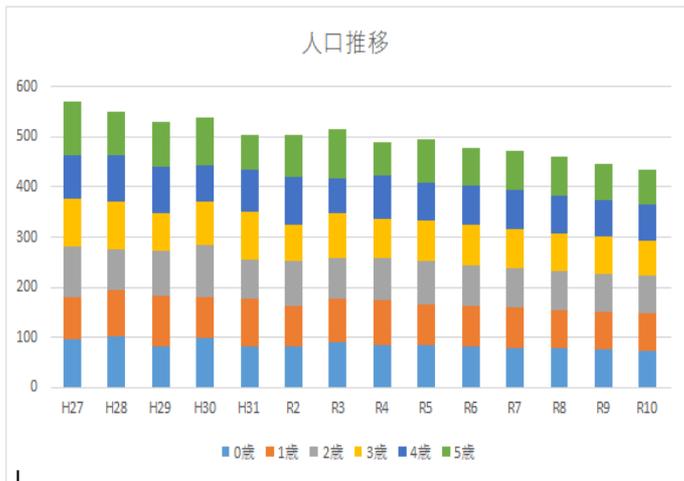


利用者推移

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H27	75	142	210	257	292	231	1207
H28	82	167	202	302	242	291	1286
H29	107	192	234	283	325	278	1419
H30	110	181	244	313	307	351	1506
H31	113	173	219	316	343	309	1473
R2	81	170	218	296	327	346	1438
R3	110	145	228	303	309	334	1429
R4	123	164	190	280	302	310	1369
R5	130	174	207	230	280	303	1324
R6	137	177	212	250	228	282	1286
R7	144	178	206	258	249	227	1262
R8	140	175	202	251	257	248	1273
R9	136	170	199	245	250	257	1257
R10	133	165	192	239	243	250	1222

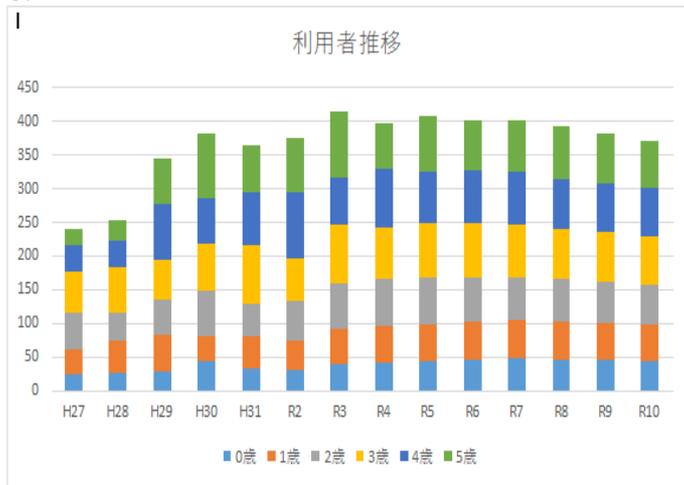


【久世地域】



人口推移

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H27	95	84	100	95	87	108	569
H28	101	93	80	95	93	87	549
H29	79	101	91	74	93	90	528
H30	98	79	105	87	73	94	536
H31	80	95	78	97	84	69	503
R2	81	79	92	71	96	82	501
R3	89	86	82	88	69	99	513
R4	84	88	85	77	86	67	487
R5	82	83	87	80	76	84	492
R6	80	81	82	81	78	75	477
R7	78	79	80	77	79	76	469
R8	76	77	78	75	75	77	458
R9	75	75	76	73	73	73	445
R10	73	74	74	71	71	71	434



利用者推移

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H27	24	36	55	61	38	26	240
H28	26	47	42	67	39	32	253
H29	28	55	52	59	82	68	344
H30	43	37	68	70	67	96	381
H31	33	48	46	88	79	70	364
R2	29	45	58	63	98	81	374
R3	39	53	66	88	69	99	414
R4	40	56	69	77	86	67	395
R5	42	55	70	80	76	84	407
R6	45	56	66	81	78	75	401
R7	47	56	65	77	79	76	400
R8	46	55	63	75	75	77	391
R9	45	54	62	73	73	73	380
R10	44	53	60	71	71	71	370

各園の状況 (R2年度実績)

	(利用)		(定員)			(利用)		(定員)	
	利用	定員	利用	定員		利用	定員	利用	定員
久世保育園		93	80		米来こども園 (幼保連携型)	保育園部	17		35
久世第二保育園		105	80			幼稚園部			15
久世こども園 (幼保連携型)	保育園部	89	120		計		17		50
	幼稚園部	22	60		草加部幼稚園		4		30
	計	111	180		愛慈園		44		40

地域全体の状況 (R2年度実績と今後の見込)

R2年度末 (実績)		R5年度末 (見込)		R10年度末 (見込)	
全体 (374/455)		全体 (407/460)		全体 (370/460)	
3上	242	3上	240	3上	213
3未	132	3未	167	3未	157
(0~5歳人口 501)		(0~5歳人口 492)		(0~5歳人口 434)	

課題・分析

- ・0~5歳児の人口減少のスピードは緩やか。
- ・3歳未満の利用者については当面、増加が見込まれる。
- ・保育園部の利用ニーズが高い。
- ・久世保育園と第二保育園については、老朽化が進んでいる。

幼児教育施設整備に関するアンケート集計結果

真庭市健康福祉部子育て支援課

【アンケート実施概要】

実施期間 令和3年7月20日（火）～7月30日（金）

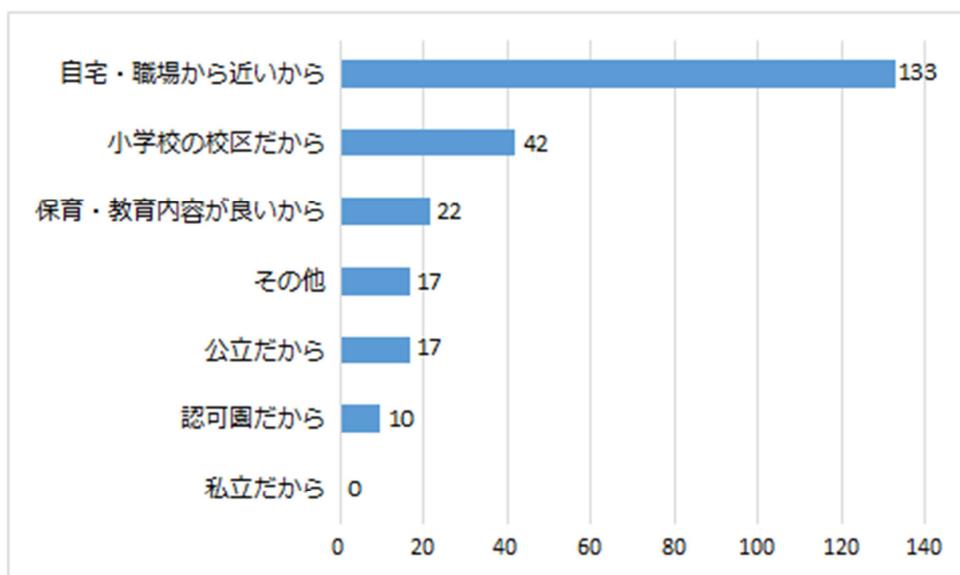
調査対象 久世地域の園の保護者（家庭数）294人

回答者数 173人（回答率58.8%）

（問1） 現在、どこの幼児教育施設に通っていますか。【複数回答可】

久世保育園	50
久世第二保育園	45
久世こども園	46
米来こども園	15
草加部幼稚園	4
愛慈園	29
その他	1

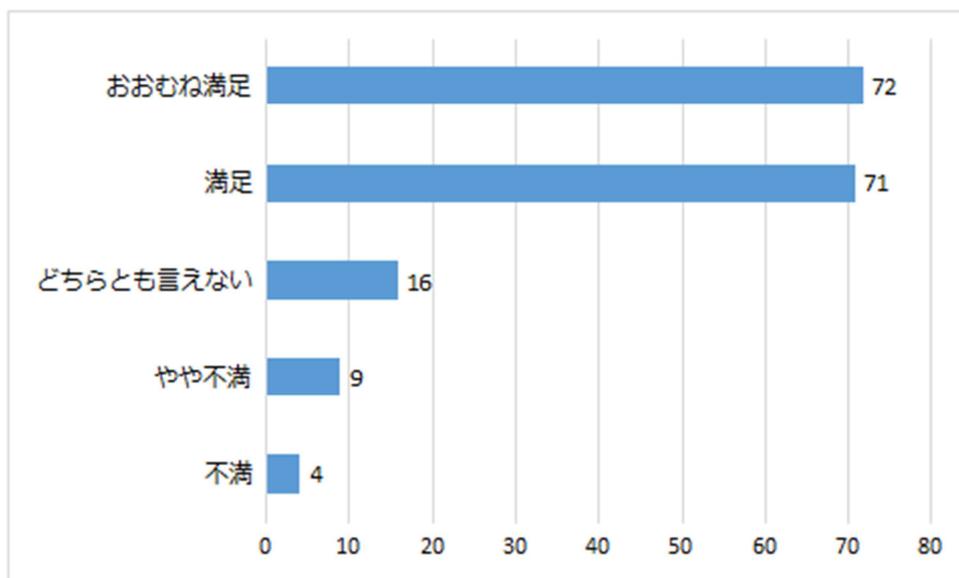
（問2） その幼児教育施設を選んだ理由は何ですか。【複数回答可】



<その他の理由（主なもの）>

- 兄弟が通っているから。
- 久世地区の中で一番新しかったから。
- 園庭が広がったから。

（問3） その幼児教育施設に満足していますか。



（問4） その理由は何ですか。【自由回答】

<満足の理由（主なもの）>

- 安心して預けられるから。
- 園の雰囲気がとても良いから。
- 子どもたちが楽しく過ごさせているから。
- 自然体験ができるから。
- 認可施設なので安心だから。
- 家ではできないことを学ばせてくれるから。（私立）
- 子どもの発達に合わせた保育をしてくれるから。（私立）
- 親の都合に柔軟に対応してくれるから。（私立）

<おおむね満足の理由（主なもの）>

- 周囲の環境が良いから。
- 施設が古いから。

- ◎ 子どもたちが楽しく安全に過ごせているから。
- ◎ 自宅に近いから。

<どちらとも言えないの理由（主なもの）>

- ◎ 施設が古いから。
- ◎ 施設が狭いから。

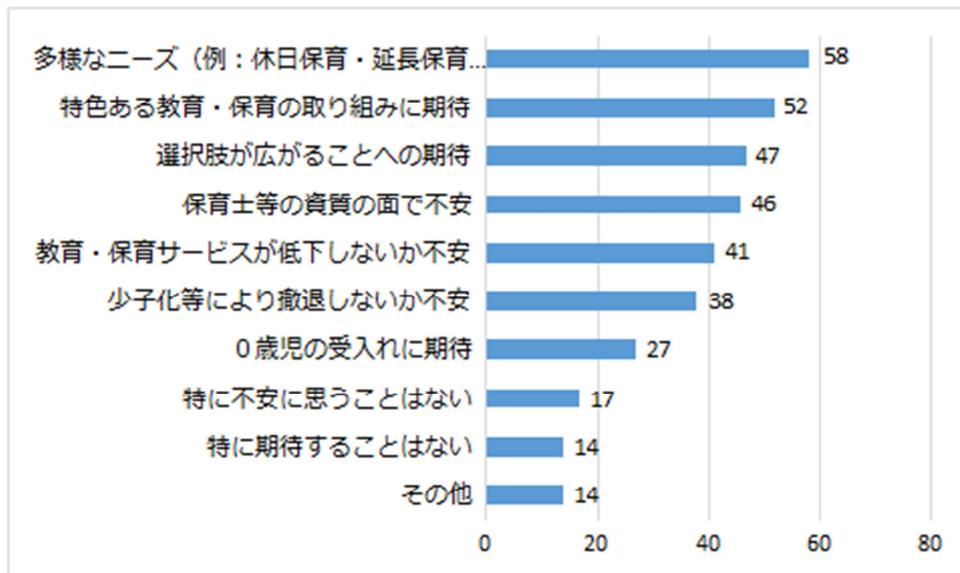
<やや不満の理由（主なもの）>

- ◎ 施設が古いから。
- ◎ 駐車場が狭いから。

<不満の理由（主なもの）>

- ◎ 施設が古いから。
- 駐車場が無いから。

（問5） 民間に期待することや不安に思うことは何ですか。【複数回答可】



<その他（主なもの）>

- ◎ 保育料が上がらないか不安。
- ◎ もっと多様な教育があれば良い。
- 保育料や時間が他と変わると困る。
- 民間は途中でやめてしまうという不安。

- 一時保育（料金設定）の充実に期待。
- 土曜保育の時間設定（例：朝7時～夜8時まで開設など）の充実に期待。
- 認可外になると安全面が保てるのか不安。

（問6） その他にご意見がありましたらお聞かせください。【自由回答】

- ◎ 園が充実していくのは良いこと。
- ◎ 兄弟が別々の園になるのは不便。
- ◎ 0～5歳対象の施設を作ってもらいたい。
- 久世こども園が3歳児以下も入れるようにしてほしい。
- 久世地区には0歳から受入れのある園がない。
- 新しい園に通えるのはうらやましく思う。
- 施設が古い。（特にトイレ）
- 駐車場が狭い。
- 園が民間運営になるのは不安。
- 保育園部と幼稚園部の選択の幅が広がってほしい。
- 老朽化している施設に定員以上の子どもたちが通うのは危険。
- 園庭が増築により狭くなるのは困る。
- 公立、民間どちらもあれば、選択肢が増えるので良い。
- 様々なニーズに対応してほしい。
- 新設の園ができることはありがたい。
- 待機児童が減ることに期待する。
- 子どもたちの安全面が大切。
- 市で独自の安全基準（保育士の配置基準）を定めて、民間にもその安全なレベルを求めてほしい。
- 祝日に預けられる園ができると良い。
- 色々な年齢の子どもが一緒に過ごす機会を多く設けてほしい。
- 閉園せずに工夫して継続してもらいたい。
- 民営化した場合、トラブルや苦情はどこまで市が責任を持つのか。
- 民間の場合、園長の独りよがりの教育にならないか不安。
- 民間の場合、行政に縛られ過ぎない経営やフットワークの軽い保育ができそう。
- 3歳未満の受入れ枠を増やしてほしい。
- 落合のような大きな施設が久世地域にもあれば良い。

久世地域における幼児教育施設の在り方（意見交換）

◎各園の施設の良い点や悪い点（課題）

【愛慈園の保護者代表より】

- ・ 個人が建てたため、施設が小さい。
- ・ 人数的にも良い。
- ・ 先生の入替わりが無く良い。

【草加部幼稚園の保護者代表より】

- ・ 毎年、園が継続されるか心配。
- ・ 少人数できめ細やかで良い。
- ・ 小学校との交流、連携があり、就学がスムーズ。
- ・ 地域との交流が多い。
- ・ 少人数なので集団ルール等の経験が無く、心配。
- ・ 長期の休みの時にも子どもを預かってほしい。

【米来こども園の保護者代表より】

- ・ 駐車場がないのが不便。
- ・ 園庭が狭い。
- ・ 小学校が近いので、卒園生（現在、小学1年生）の顔が見られるのが良い。

【久世保育園の保護者代表より】

- ・ 昔からあり、地域とのつながりがある。
- ・ 周辺環境に恵まれている。
- ・ 建物が古い。
- ・ 園内給食がある。
- ・ 先生たちが工夫して色々な遊びをしてくれる。

【久世こども園の保護者代表より】

- ・ 建物は比較的新しい。
- ・ 先生の数、園舎、園庭などバランスが良い。
- ・ 駐車場は狭い。
- ・ 給食施設は欲しいが、園庭等が狭くなるのは避けたい。

【久世第二保育園の保護者代表より】

- ・ 駐車場が狭い。
- ・ 建物が古い。
- ・ 入口が狭く、危ない。
- ・ 行事ごとに、他の施設に移動しないといけないのは不便。
- ・ 開園時間がもう少し早いほうが良い。

◎ 民間参入について

- ・ 民営化の話はすでに決まっているのか。→決まっていない。
- ・ (運営について) 市からのサポートはあるのか。→指導監査などサポートがある。
- ・ 久世保育園は、久世の中心にある園であることを考え、民間の参入についての話の前に、公立での運営を考えるべきではないか。

◎ その他

【久世保育園の保護者代表より】

- ・ 保護者も新しい園を望んでいるが、周りの環境の良さが重要。現在の環境が良いので、建て替えは、現在の場所か、周辺の公園を利用した園の建設を望んでいる。
- ・ 保護者への説明について、途中経過も含めて教えてほしい。

【久世こども園の保護者代表より】

- ・ どういう子どもをどういう環境で育てたいのか、保育について子ども・子育て会議の中で議論してほしい。

【委員より】

- ・ もっと議論すべきであり、会議の回数が少ないのでは。

久世地域における幼児教育施設整備に伴う保護者説明・報告会

日時	令和3年9月28日(火)～30日(木) 午後6時45分から
場所	久世公民館 大ホール
出席者	9/28 久世保育園保護者 18名、愛慈園保護者 0名、 9/29 久世こども園保護者 14名、草加部幼稚園保護者 1名 9/30 久世第二保育園保護者 1名、米来こども園保護者 0名
議題	①経過報告 ②アンケート結果 ③真庭市子ども・子育て会議の進捗状況 ④意見交換

【民間参入について】

- ・民間参入を視野に入れるとのことだが、理由は財政的なことからなのか。(久世保育園)
- ・民間への移行については、建物の設置から運営まですべて民間がするのか、それとも、設置は市が行い、運営は民間が行う形式なのか。(久世保育園)
- ・施設への移行であれば、公立の新しい保育園を建て替え、0歳児から預けられて、特色のある新しい園を民間が建てれば保護者の選択肢が広がるのでは。(久世保育園)
- ・今、手を挙げている民間事業者が市が示した条件ではできないという状況にならないよう、今、手を挙げている民間事業者も子ども・子育て会議に参加して一緒に考えていくべきでは。(久世保育園)
- ・現在、手を挙げている民間事業者と話をしたが、本気で良い園を作ろうとしている気持ちが伝わった。仮に公設公営になり、民間参入は無しとなった場合は、残念に思う。(久世保育園)
- ・保育士が園の状況、子どもたちのことを一番よく知っていて考えてくれていると思うので、現場の声に耳を傾け、意見を取り入れて欲しい。(久世保育園)
- ・民間参入は選択肢が広がって良いことだと思う。(久世こども園)
- ・民間参入の場合は、設置主体は社会福祉法人となるのか。(久世こども園)
- ・民間となる場合の弊害も含めて現場の先生(保育士)の意見も聞いて欲しい。(久世こども園)
- ・先生方の意見も聞いてもらいたい。(久世第二保育園)

【園の整備構想について】

- ・真庭市としては、保育園の数を増やそうとしているのか、または、新しく大規模な園を建てて、現在の園を減らそうとしているのか。(久世保育園)
- ・久世保育園と久世第二保育園を規模はそのまま建て替え、あたらしく民間の園を建てるとするのが良いのではと考える。(久世保育園)
- ・久世保育園は建て替えて、ニーズに対応してくれる(早朝預かり等)民間園を別に1つ作ってはどうかと思う。(久世保育園)
- ・公園のある場所に新設し、今の園のある場所は、遊べる広場にしてはどうか。(久世保育園)
- ・久世地域については、他の地域と比べ、子どもの数の減少が緩やかだとシミュレーション結果だったと思うので、園の定員設定は十分に余裕を持ったものにしてもらいたい。(久世こども園)
- ・公設園での定員設定後、あぶれた部分について民間で対応できるようにすれば良いのではと考える。(久世こども園)
- ・大規模園の弊害も考えて欲しい。(久世こども園)
- ・アンケート結果からも、現在の環境だったり立地条件に大半の方が満足している現状であるので、まずは公共で考えて、足りないところを民間で対応するのが良いのではないかと。(久世こども園)
- ・現在、給食については学校との共同で作られているため、学校が休校になるときなど影響を受けることが多々ある。新しくできる園には、給食施設も一緒に作ってもらいたい。(久世こども園)
- ・現状の園児数がちょうど良いバランスだと思う。(久世こども園)
- ・給食施設については、久世地域の別の場所に共同調理場を考えてもらいたい。(久世こども園)
- ・久世保育園が老朽化ということであれば、建て替えの方向で検討してもらいたい。(久世第二保育園)
- ・久世第二保育園も老朽化が進んでいる。そちらにも対応してもらいたい。(久世第二保育園)

【今後の園整備等のスケジュールについて】

- ・ R5年の開園に向けて進めていると聞いたが、今のペースでは間に合わないのではないかと思う。今後のスケジュールはどう考えているのか。(久世保育園)
- ・ 今後も定期的にこのような意見交換会を開催してくれるのか。(久世こども園)
- ・ 久世保育園の整備計画、構想など現状はどうなっているのか。また、具体的な予定、スケジュールが決まっていれば教えて欲しい。(久世こども園)
- ・ こども園を新設する場合、園の形態はいつの時点で決定されるのか。(久世こども園)

【要望】

- ・ 例えば、園は公設で建てて、午前中は公営、午後からは民間が運営して特色ある教育・保育（習い事など）をするといったように、子どもたちのために柔軟な対応をして欲しい。(久世保育園)
- ・ 久世こども園をもう少し低年齢から対応してもらうことはできないか。(久世こども園)
- ・ 現在、真庭市には0歳児の受け入れがないことは核家族の家庭にとっては厳しい。(久世こども園)
- ・ 以前に住んでいたところには「ファミリーサポートセンター」があり、良かった。真庭市にも各地に同様の施設があってほしい。また、センター園で対応してほしい。(久世こども園)
- ・ 開所時間を7：00からにしてほしい。(久世こども園)
- ・ 土曜日保育が保護者のリフレッシュとしても利用できるようにしてもらいたい。(久世こども園)
- ・ 日曜日にも利用できる保育施設があれば助かる。(久世こども園)
- ・ 保育士の給与を引き上げ、やりがいを感じるようにしてほしい。(久世こども園)
- ・ アンケート結果にもあった駐車場の問題などは、ピックアップして、是非とも対応してもらいたい。(久世第二保育園)

【子ども・子育て会議について】

- ・子ども・子育て会議で決まったことが、そのまま決定事項となるのか。(久世保育園)
- ・子ども・子育て会議の構成メンバーにはどのような人がいるのか教えて欲しい。(久世保育園)
- ・久世地域の園の保護者代表が子ども・子育て会議に参加したのは、第2回会議だけのようだが、今後も参加する予定はあるのか。(久世保育園)
- ・子ども・子育て会議には実際に現場で働いている先生（保育士）に意見は反映されているのか。(久世こども園)
- ・子ども・子育て会議の今後のスケジュール感と今後、この会議がどのような目標に向かって進んでいくのか教えて欲しい。(久世こども園)
- ・設置しようとするこども園の形態についても、子ども・子育て会議の中で議論してもらいたい。(久世こども園)

【その他】

- ・待機児童対策として、CLTが久世保育園と米来こども園にできたが、これによって園庭が狭くなった。子どもの遊び場がないがしろになっているのではないかと心配する。(久世保育園)
- ・『こどもがまんなか』と言われているので、それに見合ったことをしてもらいたい。(久世こども園)
- ・給食施設を増やして、これ以上園庭が狭くなるのは厳しい。(久世こども園)
- ・今の保育園で満足している人がほとんど。(久世第二保育園)